

(新) 廃棄物由来バイオ燃料の戦略的利用拡大に向けた調査

30百万円( 0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

1. 事業の概要

- (1) 廃棄物由来のバイオ燃料(バイオエタノール、メタン等)について、燃料の生産方法に関する技術の現状、各々の技術の利点や欠点等を把握する。
- (2) バイオ燃料の原料となる廃棄物について、その集積と燃料化に係る経済性の検討、他の再生利用等に用いられる場合の需要や課題を把握する。
- (3) 安全かつ確実なバイオ燃料の生産を図るため、燃料化を行う施設の安全性及び燃料の品質の確保を目的とした基準やマニュアルを整備する。

2. 事業計画

平成20年度・平成21年度

- ・ 諸外国におけるバイオ燃料の現状調査  
(技術や普及に向けた取組の動向)
- ・ 廃棄物由来バイオ燃料に係る技術の現状調査  
(燃料の生産方法、需要面から求められる品質、廃棄物の管理方法)
- ・ バイオ燃料の原料となる廃棄物の再生利用等の動向調査  
(利用できる廃棄物の集積状況、他の再生利用等の技術の現状、他の再生利用等により得られる製品の需要や課題)

平成22年度

- ・ 廃棄物由来バイオ燃料の利用に関する戦略の策定
- ・ 燃料化施設の安全性及び燃料の品質確保のための基準・マニュアルの策定

3. 施策の効果

廃棄物由来バイオ燃料に関する技術の特性を踏まえた戦略やその安全かつ確実な利用のための基準・マニュアルが整備されることにより、廃棄物由来バイオ燃料の本格的な利用拡大が図られる。

4. 備考

調査費

(内訳) 諸外国における廃棄物由来バイオ燃料の現状調査	12,000千円
廃棄物由来バイオ燃料に係る技術の現状調査	9,000千円
バイオ燃料の原料となる廃棄物の再生利用等の動向調査	9,000千円

# 廃棄物由来バイオ燃料の戦略的利用拡大に向けた調査

## 【目的】

- ・廃棄物由来のバイオ燃料(バイオエタノール、メタン等)について、燃料の生産方法に関する技術の現状、各々の技術の利点や欠点等を把握する。
- ・バイオ燃料の原料となる廃棄物について、その集積と燃料化に係る経済性の検討、他の再生利用等に用いられる場合の需要や課題を把握する。
- ・安全かつ確実な燃料の生産を図るため、燃料化を行う施設の安全性及び品質面での安定的な生産の確保を目的とした基準やマニュアルを整備する。

## 廃棄物由来バイオ燃料 の利用拡大の必要性

温室効果ガスの排出削減  
(京都議定書目標達成計画)

バイオ燃料の原料となる  
作物価格の高騰

バイオマス系廃棄物の  
エネルギー利用の推進  
(国産バイオ燃料の大幅な拡大)  
(食品リサイクル法の一部改正)

## 廃棄物由来バイオ燃料の利用拡大に必要な戦略等の策定

### 廃棄物由来バイオ燃料の利用に関する戦略の策定

- ・廃棄物由来のバイオ燃料の生産技術の現状
- ・需要側から求められる品質
- ・他の再生利用等の需要や3Rの原則等を踏まえた  
棲み分けの考え方

### 燃料化施設の安全性及び燃料の品質確保のための 基準・マニュアルの策定

- ・施設の構造、施設の維持管理の方法
- ・燃料の品質管理方法
- ・原料となる廃棄物の管理方法